

皆様こんにちは。とうとう 2018 年最後の坂井先生のコラムです☆もう 64 回にもなるんですね・・・1ヶ月に1回なので・・・おお！
なんともう5年超えてるんですね・・・以前にも書きましたが、いつか本にしないとダメですね。ほんとに。
さて、今回は年末年始の間に是非のぞいて頂きたいウェブサイトの情報です。一番下はサンフェイス e-AT lab でもお世話になった
e-AT 利用促進協会さんのホームページですね。Facebook をされている方は一番上の「障害者関係 app の広場」はオススメです☆
Facebook は坂井先生も僕もやっていますので、どしどし友達申請して下さいね～♪その時メッセージも一緒に下さいね。 久田

第 64 回『わかるように伝えていますか』

香川大学 坂井 聡

これまで、コミュニケーション機器と ICF について考えてきました。読んでいただくと、その人の自己実現を支えるうえでもコミュニケーション手段を確保することは重要なことだとわかってもらえたのではないかと思います。自己実現を支えるために、コミュニケーション手段を確保して、やりとりができる環境を作ることが求められるのだと思うのです。

やり取りできる環境を考えるうえで、重要なことは、こちらから「わかるように伝えること」と相手から「わかるように伝えてもらうこと」です。そういう環境でないと、意味あるやり取りは成立しないからです。このとき、障がいのある人からわかるように伝えてもらう手段のひとつとしてコミュニケーション機器は有効だということなのです。活用方法によっては自己実現するための強力なツールになるのです。コミュニケーションできる環境を整えるうえで、コミュニケーション機器も選択肢として用意されるべきだと思うのです。それは、自己実現を支えることにつながるのですから。

最後に参考となるウェブサイトを紹介して終わります。

参考になるウェブサイト

障害者関係 app の広場

障害者に役立つ app の紹介、AAC や ICT 関連のニュース、セミナー・研修会、海外 app などを幅広く伝えてくれる Facebook のサイト。

<http://www.facebook.com/dappinfo>

kinta のブログ

アシスティブ・テクノロジー（支援技術）や AAC（拡大・代替コミュニケーション）について研究している金森克浩さんのブログ。

<http://kinta.cocolog-nifty.com/>

e-AT 利用促進協会

障害のある人や高齢者の自立した生活を助ける電子情報支援技術（e-AT）と、コミュニケーション支援技術（AAC）の普及を目的として設立された NPO 法人。誰もが電子情報技術を活用して、より豊かで自立した生活が営めるような社会づくりを目指している。

<http://www.e-at.org/app-def/S-101/service/index.php>

坂井聡先生の紹介

（プロフィール）

香川大学教育学部卒業 金沢大学大学院教育学研究科修了、香川大学教育学部附属養護学校など養護学校教諭を経て、現在香川大学教育学部障害児教育コース准教授 1997 年 自閉症のコミュニケーション指導で辻村奨励賞受賞。2013 年より教授に就任。

（著書）

暮らしの中のコミュニケーション（やまびこの里）クラスルームコミュニケーション（こころリース出版会）自閉症や知的障害をもつ人とのコミュニケーションのための 10 のアイデア（エンバワメント研究所）など